

第13回キッズデザイン賞受賞 家族の成長に、変化できる賃貸住宅「freem²(フリース)」 ～可動家具を使って自由に間取りを変えられる住まい～

旭化成ホームズ(株)(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:川畑 文俊)は、家族の成長に変化できる賃貸住宅『ヘーベルメゾン「freem²(フリース)」』が、8月23日に発表された特定非営利活動(NPO)法人キッズデザイン協議会主催の「第13回キッズデザイン賞」を受賞しましたので、お知らせします。

本商品は、新婚から子育て期のファミリーを対象とした賃貸住宅です。限られた住戸面積の中で、入居者自身が間仕切り家具の配置によって間取りを変えることができる住戸設計が特徴で、「子どもたちを、生み育てやすいデザイン」の部門で受賞しました。

結婚を機に住まいを探す夫婦は、将来家族が増えることを考慮し、はじめから2LDKの間取りを選択することが多いものの、家族人数や就寝スタイルの変化など、子供の誕生や成長に対応できる賃貸住宅が少ないのが現状です。ライフスタイルが最も変わりやすい時期に、ずっと同じ間取りでは不便を感じてしまうことも少なくない中、とはいえ子供の転園や転校が伴う引越しは、大きな負担でもあります。ヘーベルメゾン「freem²(フリース)」は、今年30周年を迎える当社の「共働き家族研究所」の設計ノウハウをもとに、家族やライフスタイルが変化しても、できる限り住み慣れた場所で、長く快適に暮らすことができるよう開発した賃貸住宅です。



KIDS
DESIGN
AWARD
2019

■キッズデザイン賞とは

「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・空間・サービス・活動・研究の中から優れた作品を選び、社会に発信していくもの。

(主催:キッズデザイン協議会、後援:経済産業省、内閣府、消費者庁)

<https://kidsdesignaward.jp>

<ヘーベルメゾン「freem²(フリース)」概要>

可動家具を使って、自由に間取りを変えられる住まいです。自在にレイアウト変更できる柔軟性は、変化する家族にピッタリなカタチをつくることができます。

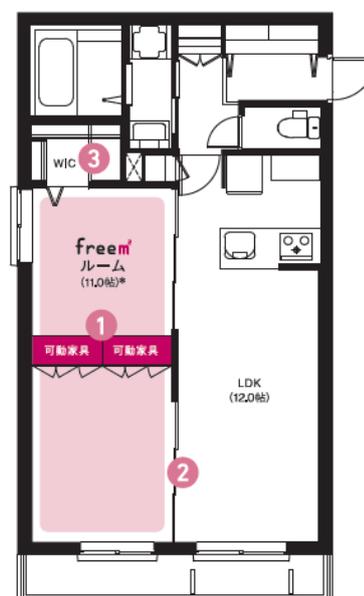
freem²
フリース

- 1 可動家具でfreem²ルームの使い方を自由に変える。
- 2 引き戸を開けば広々とした1LDKに。
- 3 子育て家族のニーズにマッチした布団棚付きクローゼット。



可動家具

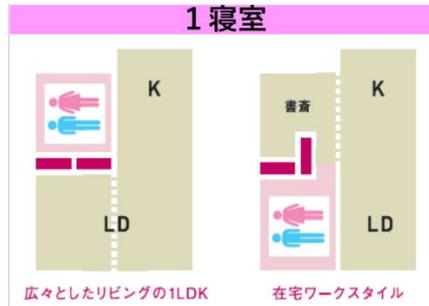
間仕切り壁としても使えるキャスター付きの可動収納。書斎コーナーやクロークをついたり、LDKの収納にしたりと、さまざまな使い方ができます。





夫婦
2人の時

2人でゆったりくつろげる、
広くて明るいリビングがいいな。



広々としたリビングの1LDK

在宅ワークスタイル



夜泣きの時期にはお父さん別寝室



広々リビング+書斎

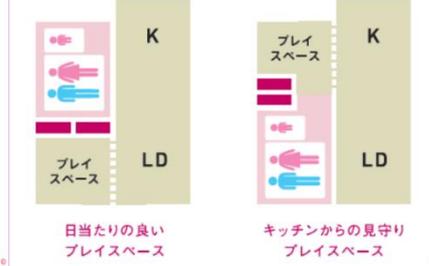
可動家具

ダブルベッド



子どもが
生まれた時

目の届くところに
子どものプレイスペースをつくれたいな。



日当たりの良い
プレイスペース

キッチンからの見守り
プレイスペース



夜泣きの時期には
お父さん別寝室



プレイスペース

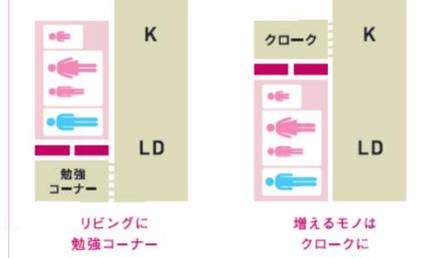
可動家具

ベビーベッド+
ダブルベッド



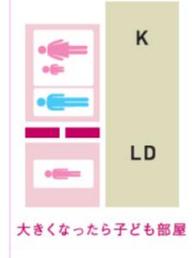
子どもが
小学生
くらいに
成長した時

家族みんなで
ゆったり寝られる寝室がほしいな。



リビングに
勉強コーナー

増えるモノは
クロークに



大きくなったら子ども部屋



勉強コーナーと
プレイスペース

可動家具

シングルベッド+
ダブルベッド

<ご参考>

・詳細は商品紹介 HP をご覧ください

<https://www.asahi-kasei.co.jp/maison/products/freem2/index.html/>

・旭化成ホームズ（株）共働き家族研究所

<https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/kurashi/kenkyu/dewks/index.html/>

.....2019年9月25日追記.....

2019年9月25日には、全受賞作品264点の中から、優秀作品の発表、表彰式が行われ、旭化成ホームズの『ヘーベルメゾン「freem(フリース)」』は、「子どもたちを産み育てやすいデザイン 個人・家庭部門」において、キッズデザイン協議会会長賞を受賞いたしました。

受賞理由は、「子育て世代に好まれる2LDKの賃貸住宅で入居中の家族を中心とした実態調査を行い、汎用性の高い課題解決策をデザインに盛り込んだ。子どもが生まれてからの転居は転園や転校を伴い、住む場所は子育ての過程では大きな問題だ。自らが住空間のレイアウトに参画することで、暮らしぶりの再認識やスペース活用の見直しにつながる点も有効である。」との講評をいただいております。

〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

旭化成ホームズ株式会社 広報室

(電話)03-6899-3010 (FAX)03-6899-3400 (メール)j-koho@om.asahi-kasei.co.jp